機械システム系の教育訓練目標

機械システム系の構成（能開大に設置されている科のみ表記）

機械システム系 ―――― 生産技術科

■業界に求められる人材像

製造業のグローバル化や技術革新に伴い、日本の製造業には、これまで以上に高付加価値化、短納期化、低コスト化と併せ、環境保全への対応も必要となっている。さらに、生産年齢人口の減少による労働者不足が大きな課題となっている中、労働生産性の向上や技能伝承などへの対応が求められている。

このような状況に対応するために、工業製品の品質及び生産性の向上、環境保全を意識したものづくりができる実践的な技能・技術を兼ね備えるとともに、ロボット、AI などの先進技術にも柔軟に対応でき、リーダーシップ力を持ち合わせた人材が求められている。

■教育訓練目標

生産技術科では、工業製品を作り出すために必要な実践技術として、設計技術(機械設計製図／CAD 技術 等)、加工・計測技術(精密機械加工／精密測定 等)、制御技術(シーケンス制御／油圧・空圧制御 等)について習得し、金属製品製造業、機械器具製造業などの製造技術者として活躍することができる高度な知識と技能・技術を兼ね備えた人材を育成する。